

BUG

Tonko house

Summer Studio 2024

トンコハウスとつくる ワークショップ・展覧会

小学生対象

6/8
sat

中学生・高校生対象

6/29 sat

and

7/6 sat

※両日参加できる方

7/27
sat

8/25
sun

Workshop
and Exhibition
with Tonko House

展覧会

2024/7/27 土 sat — 8/25 日 sun 11:00-19:00

金曜日は 20:00まで開館 火曜休・8/13-16休 入場無料

July 27 – August 25, 2024 11:00-19:00

(Open until 20:00 on Fridays)

Closed on Tuesdays and August 13-16 Admission Free

ワークショップ

小学生対象 6/8 sat

キャラクターを考えよう(仮)

- ① 10:00-12:30 予定 (開場 9:45)
- ② 14:30-17:00 予定 (開場 14:15)

小学生対象/定員各回15名 / 事前参加申し込み
(5月10日から申込受付開始予定)
参加費 1000円 (予価・材料費)
※①②の内容は基本的に同じものです。

中学生・高校生対象 6/29 sat

キャラクター、ストーリーづくり(仮)

- 10:00-12:30 予定 (開場 9:45) 中学生対象
- 14:30-17:00 予定 (開場 14:15) 高校生対象

中学生・高校生とも定員15名 / 事前参加申し込み
(5月10日から申込受付開始予定)
参加費 1000円 (予価・材料費)

※両日ご参加
いただける方
2日間のプログラム

講師

栗田 唯 ストーリーアーティスト



高知県出身。2012年にサンフランシスコの美術大学 AAU の大学院に入学。Blizzard Entertainment にてストーリーアーティストとしてキャリアをスタートし、帰国後は MARZA ANIMATION PLANET で『Ninjala』のストーリーボードを手掛ける。その後、堤大介監督からのオファーで『ONI ~ 神々山のおなり』のストーリーボードに携わり、現在はフリーランスのストーリーアーティストとして活動中。

橋爪陽平 コンセプトアーティスト



Netflix シリーズ『GO! GO! コリー・カーソン』でコンセプトアートを務め、絵本『ダム・キーパー』ではペイントを担当。Netflix シリーズ『ONI ~ 神々山のおなり』(Netflix にて配信中)では、コンセプトアーティストとしてカラーズクリプトなどを手がけ、米アニメー賞にてベスト・プロダクション・デザイン賞(テレビ/メディア部門)を受賞。

トンコハウス /

ピクサーでアートディレクターを務めていた堤大介とロバート・コンドウが、2014年に短編映画『ダム・キーパー』を共同監督したことをきっかけに、2014年7月にカリフォルニア州パークレーに共同設立したアニメーションスタジオ。『ダム・キーパー』は2015年に第87回アカデミー賞短編アニメーション賞にノミネートされたほか、世界各地で25の賞を受賞、75の映画祭で上映された。2016年制作の短編映画『ムーム』は世界8カ国の映画祭で数々の賞を受賞。2017年、日本のHuluで配信されたエリック・オー監督の『ピッグ-丘の上のダム・キーパー』は、配信後にNHKでも放送された人気作品。Netflixで配信中の『ONI ~ 神々山のおなり』は、2023年に“アニメーション界のアカデミー賞”と称されるアニメー賞にて二部門受賞し、米テレビ界最高峰の栄誉といわれるエミー賞でも三部門で受賞。2019年からは石川県金沢市にもスタジオを構え、日米の2拠点で作品を制作している。作品制作以外にも展覧会やイベント、ワークショップの開催など多角的に活動している。



『ONI ~ 神々山のおなり』
©Tonko House Inc. / ©2022 Netflix



『ムーム』
©2016 G.Y.W./ MOOM FP



『ダム・キーパー』
©Tonko House Inc.



『ピッグ-丘の上のダム・キーパー』
©Tonko House Inc.



『ポトルジョージ』
©CHIMNEY TOWN

BUGでは夏の特別プログラムとして、小中高生向けのワークショップと展覧会を開催いたします。

株式会社リクルートホールディングスが2023年まで運営していたクリエイションギャラリーG8で、2018年から2022年まで開催した「Creation Kids Lab」。小学生を対象に、デザイナーやイラストレーター、アーティストなどのクリエイターを講師に迎え、5年間で26種類の多彩なワークショップを実施、のべ576人のこどもたちが参加しました。

この夏、BUGで開催する「Summer Studio 2024」では、これまでのワークショップの経験を生かしながらさらに発展させたものにと、トンコハウスにワークショップと展覧会への参加をお願いしました。トンコハウスは、ピクサーで『トイ・ストーリー3』や『モンスターズ・ユニバーシティ』のアートワークを手がけた堤大介とロバート・コンドウが、2014年7月カリフォルニア州パークレーに設立したアニメーションスタジオです。2016年にクリエイションギャラリーG8で開催した初個展「『ダム・キーパー』の旅」以来8年ぶりに、今年活動10周年を迎えるトンコハウスと、BUGでのワークショップイベントのコラボレーションが実現しました。

ワークショップは、トンコハウスのアニメーション制作に携わるクリエイターが講師となり、小学生、中学生、高校生それぞれを対象に、作品づくりの楽しさを体験できるプログラムを実施します。

展覧会では、ワークショップに参加したみなさんの作品と、トンコハウスのこれまでの作品や活動をあわせて展示。こどもから大人までご参加いただけるミニ体験やイベントも予定しています。

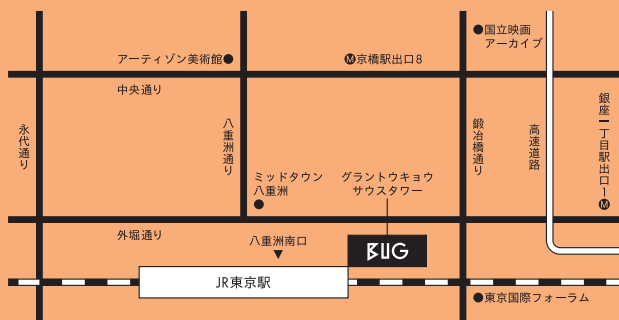
つくることを楽しみ、チャレンジを続けるトンコハウスと、クリエイションの面白さや楽しさを体験できるワークショップと展覧会にしたいと考えています。

会期中にイベントを実施します。詳細はウェブサイト、SNSにてお知らせいたします。

Twitter @bugart_tokyo Facebook bugart.tokyo
https://bug.art/

Summer Studio 2024

QRコード



BUG

〒100-6601 東京都千代田区丸の内 1-9-2
グラントウキョウサウスタワー 1F
Gran Tokyo SOUTH TOWER 1F,
1-9-2, Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo

BUG



Tonko House

Summer Studio 2024

トンコハウスとつくる ワークショップ・展覧会

小学生対象

6/8
sat

中学生・高校生対象

6/29 sat

7/6 sat

※両日参加できる方

7/27
sat

8/25
sun

Workshop
and Exhibition
with Tonko House

展覧会

2024/7/27 土 sat — 8/25 日 sun 11:00-19:00

金曜日は 20:00まで開館 火曜休・8/13-16休 入場無料

July 27 – August 25, 2024 11:00-19:00

(Open until 20:00 on Fridays)

Closed on Tuesdays and August 13-16 Free

ワークショップ

小学生対象 6/8 sat

キャラクターを考えよう(仮)

- ① 10:00-12:30 予定 (開場 9:45)
- ② 14:30-17:00 予定 (開場 14:15)

小学生対象/定員各回15名 / 事前参加申し込み
(5月10日から申込受付開始予定)
参加費 1000円 (予価・材料費)
※①②の内容は基本的に同じものです。

中学生・高校生対象 6/29 sat と 7/6 sat

キャラクター、ストーリーづくり(仮)

- 10:00-12:30 予定 (開場 9:45) 中学生対象
- 14:30-17:00 予定 (開場 14:15) 高校生対象

中学生・高校生とも定員15名 / 事前参加申し込み
(5月10日から申込受付開始予定)
参加費 1000円 (予価・材料費)

講師 栗田 唯 ストーリーアーティスト



高知県出身。2012年にサンフランシスコの美術大学AAUの大学院に入学。Blizzard Entertainmentにてストーリーアーティストとしてキャリアをスタートし、帰国後はMARZA ANIMATION PLANETで『Ninjala』のストーリーボードを手掛ける。その後、堤大介監督からのオファーで『ONI ~ 神々山のおなり』のストーリーボードに携わり、現在はフリーランスのストーリーアーティストとして活動中。

講師 橋爪陽平 コンセプトアーティスト



Netflix シリーズ『GO! GO! コリー・カーソン』でコンセプトアートを務め、絵本『ダム・キーパー』ではペイントを担当。Netflix シリーズ『ONI ~ 神々山のおなり』(Netflixにて配信中)では、コンセプトアーティストとしてカラーズクリプトなどを手がけ、米アニメー賞にてベスト・プロダクション・デザイン賞(テレビ/メディア部門)を受賞。

トンコハウス

ピクサーでアートディレクターを務めていた堤大介とロバート・コンドウが、2014年に短編映画『ダム・キーパー』を共同監督したことをきっかけに、2014年7月にカリフォルニア州パークレーに共同設立したアニメーションスタジオ。『ダム・キーパー』は2015年に第87回アカデミー賞短編アニメーション賞にノミネートされたほか、世界各地で25の賞を受賞、75の映画祭で上映された。2016年制作の短編映画『ムーム』は世界8カ国の映画祭で数々の賞を受賞。2017年、日本のHuluで配信されたエリック・オー監督の『ピッグ-丘の上のダム・キーパー』は、配信後にNHKでも放送された人気作品。Netflixで配信中の『ONI ~ 神々山のおなり』は、2023年に“アニメーション界のアカデミー賞”と称されるアニメー賞にて二部門受賞し、米テレビ界最高峰の栄誉といわれるエミー賞でも三部門で受賞。2019年からは石川県金沢市にもスタジオを構え、日米の2拠点で作品を制作している。作品制作以外にも展覧会やイベント、ワークショップの開催など多角的に活動している。



『ONI ~ 神々山のおなり』 ©Tonko House Inc. / ©2022 Netflix



『ムーム』 ©2016G.Y/W/ MOOM FP



『ダム・キーパー』 ©Tonko House Inc.



『ピッグ-丘の上のダム・キーパー』 ©Tonko House Inc.

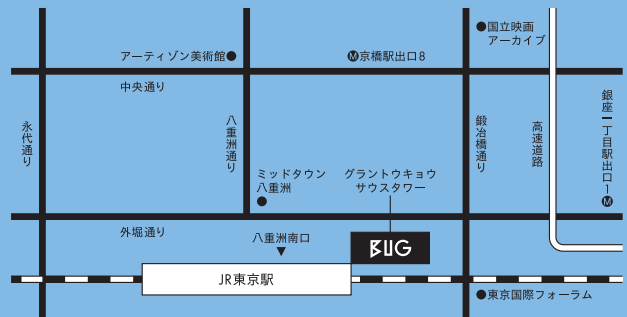


『ボトルジョージ』 ©CHIMNEY TOWN

Summer Studio 2024

BUGでは夏の特別プログラムとして、小中高生向けのワークショップと展覧会を開催いたします。株式会社リクルートホールディングスが2023年まで運営していたクリエイションギャラリーG8で、2018年から2022年まで開催した「Creation Kids Lab」。小学生を対象に、デザイナーやイラストレーター、アーティストなどのクリエイターを講師に迎え、5年間で26種類の多彩なワークショップを実施、のべ576人のこどもたちが参加しました。この夏、BUGで開催する「Summer Studio 2024」では、これまでのワークショップの経験を生かしながらさらに発展させたものにと、トンコハウスにワークショップと展覧会への参加をお願いしました。トンコハウスは、ピクサーで『トイ・ストーリー3』や『モンスターズ・ユニバーシティ』のアートワークを手がけた堤大介とロバート・コンドウが、2014年7月カリフォルニア州パークレーに設立したアニメーションスタジオです。2016年にクリエイションギャラリーG8で開催した初個展「『ダム・キーパー』の旅」以来8年ぶりに、今年活動10周年を迎えるトンコハウスと、BUGでのワークショップイベントのコラボレーションが実現しました。ワークショップは、トンコハウスのアニメーション制作に携わるクリエイターが講師となり、小学生、中学生、高校生それぞれを対象に、作品づくりの楽しさを体験できるプログラムを実施します。展覧会では、ワークショップに参加したみなさんの作品と、トンコハウスのこれまでの作品や活動をあわせて展示。こどもから大人までご参加いただけるミニ体験やイベントも予定しています。つくることを楽しみ、チャレンジを続けるトンコハウスと、クリエイションの面白さや楽しさを体験できるワークショップと展覧会にしたいと考えています。

会中にイベントを実施します。詳細はウェブサイト、SNSにてお知らせいたします。
@bugart_tokyo bugart.tokyo
<https://bug.art/>



〒100-6601 東京都千代田区丸の内 1-9-2
グラントウキョウサウスタワー 1F
Gran Tokyo SOUTH TOWER 1F,
1-9-2, Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo